



読解力検定アプリについて

全国学力・学習状況調査の結果から、問題の文章や示された図表などを正しく読み取れていない可能性があるなど、「読解力の育成」が本県の課題の一つであると考えています。そこで、県教育委員会では、その課題の克服に向けた基礎的な力を養うため、「読解力検定アプリ」を開発し、EILSに搭載しました。

1 問題内容・使用方法

「読解力検定アプリ」は、「指し示す言葉」「主語と述語」「原因と結果」「つなぐ言葉」などの問題に児童生徒が挑戦できます。問題はカテゴリ別に、ランダムに出題され、児童生徒は自分で挑戦したいカテゴリとレベルを選び、問題を解いていきます。現在、「指し示す言葉」と「主語と述語」の問題に挑戦できます。カテゴリは順次、増やしていきます。

【使用方法】

①「読解力」を押します。

②難易度を選択し、「挑戦する」を押します。

タイピング リスニング スピーキング 計算 **読解力**

全6件中 1~6件を表示 【前へ】 **【1】** 【次へ】

[県] 指し示す言葉 3級 (小3、小4レベル)
こそあど言葉（「これ」や「あの」など）が何を指しているのかを読み取りましょう。

[県] 指し示す言葉 2級 (小4、小5レベル)
こそあど言葉（「これ」や「あの」など）が何を指しているのかを読み取りましょう。

[県] 指し示す言葉 1級 (小5、小6レベル)
こそあど言葉（「これ」や「あの」など）が何を指しているのかを読み取りましょう。

[県] 指し示す言葉 初段 (小6、中1レベル)
指示語が指し示す内容を正しく読み取りましょう。

指し示す言葉 3級 (小3、小4レベル)

つぎ ぶんしょう よ もんだい こた
次の文章を読んで問題に答えましょう。 ■問題：【この特ちょう】とは、何を指していますか。

ちゅう からだ とく あたま
こん虫の体には特ちょうがあります。頭・むね・はらの三つの部分に分かれています。また、あしは六本あります。【この特ちょう】によって、他の生き物と区別することができます。

あたま みつ ぶぶん わ ろっぽん
○ 頭・むね・はらの三つの部分に分かれ、あしが六本あること

ちゅう ほか い もの くべつ
○ こん虫が他の生き物と区別できること

ちゅう からだ とく
○ こん虫の体に特ちょうがあること

2 アプリの活用について

- (1) 運用開始期日：3月3日（火）
- (2) 対象者：県内公立小学1年生～中学3年生

授業中はもとより、朝学習の時間や家庭学習、学年末・学年始休業中の課題など、積極的に御活用ください。



えひめっこピカイチ大賞について

令和8年1月9日（金）に、県庁において「令和7年度えひめっこピカイチ大賞」の表彰式を開催しました。本年度は、「タイピング」「計算」「読書」「情報活用」の4部門を設定しました。

表彰式では、受賞した1,858名のうち、特に優秀と認められた児童生徒に愛媛県教育委員会、愛媛県教育研究協議会、日本教育公務員弘済会愛媛支部から賞状及び記念品を授与しました。



【4つの部門紹介】

🌸 タイピング部門 🌸

～「読み・書き・パソコン！」未来につながる第一歩～

EILSの「タイピング検定」を活用し、目標を設定して継続的に練習することで、「速く、正確に入力する力」を育成でき、調べ学習やレポート作成など、学習活動の質を高めます。

🌸 計算部門 🌸

～毎日のチャレンジが、確かな力に～

EILSの「計算検定」は、授業に合わせた復習や、次の単元への準備に活用できます。速さと正確さを意識して取り組むことで、基礎的・基本的な計算技能が高まり、「分かる」「できる」を増やすことができます。

🌸 読書部門 🌸

～本の世界が、あなたの世界を広げる～

電子版読書通帳「みきゃん通帳」を活用して、日々の読書の歩みを「見える化」しながら、読書習慣の定着を図ることができます。さらに、書評を書く活動を通して、「内容をまとめる力」「自分の考えを伝える力」が育ちます。

🌸 情報活用部門 🌸

～未来を描くのは、あなたのアイデア～

今年度のテーマは、「あったらいいなこんな世界 ～大阪・関西万博の年に描く未来の姿～」でした。身近な社会問題に目を向け、解決策と未来の姿を構想します。アイデアを形にする中で、「表現力」や「課題の本質をとらえ、よりよい未来を創造する力」が育ちます。

それぞれの部門の結果や作品からは、子供たちが自ら目標を立て、その達成に向けて主体的に取り組んできた姿勢を感じることができました。各学校や家庭においても、子供たちのそのような姿を温かく見守り、励ましてこられたことと思います。一つ一つの挑戦や地道な取組の積み重ねこそが、子供たちの確かな成長につながっていきます。子供たちの可能性を信じ、小さな達成感を大切にしながら、学びへの意欲を育てていきましょう。

※ 表彰式や受賞作品の詳細につきましては、県教育委員会義務教育課HPに記事を掲載していますので、ぜひご覧ください。👉👉👉

